

## ▼ 心血管フォローアップ手帳とは

がんの治療成績の向上に伴い増加しているがんサバイバーのケアは今後ますます重要となりますが、アントラサイクリン系抗がん剤の使用歴など、将来的な心血管リスクとなるがん治療内容に関する詳細情報が得られにくいこともあり、がんサバイバー診療に支障をきたすケースを時折経験します。そこで、兵庫県がん診療連携協議会では兵庫県立がんセンターと共同で、がんサバイバーの心臓病、血管病のリスクをケアすることを目的とした「心血管フォローアップ手帳」を作成しました。

## ▼ 心血管フォローアップ手帳の目的

- ◆ がんサバイバーの心臓病・血管病リスクの自己管理
- ◆ 医療従事者にとってサバイバー診療に必要な情報の一元的管理
- ◆ 病気や治療などに関する情報掲載

それぞれの病気の管理というよりは、心臓病、血管病を通してがんサバイバーの自己管理を目指し、その手助けとなることを目的としています。手帳に記載する内容には、一部医療者でないと記載できない部分があります。医療者は、記載の補助をお願いします。

## ▼ 心血管フォローアップ手帳の使い方

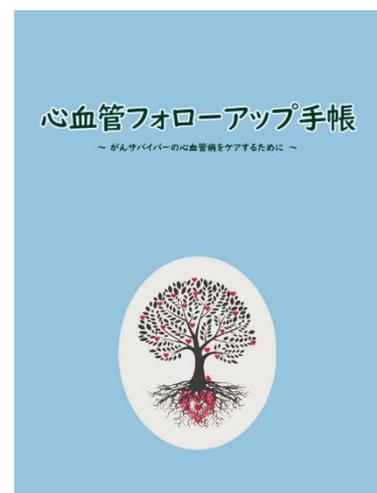
がん治療が完遂するころ、主治医または医療者から心血管フォローアップ手帳を患者さんに手渡してください。必要事項を記載後、患者さんには医療機関を受診する際などにお薬手帳などと共に持参していただくようお願いください。

- ・右の表紙画像から全ページを確認できます
- ・印刷用の PDF データは下記よりダウンロードしてください

 「心血管フォローアップ手帳(第1版)」印刷頁順

 「心血管フォローアップ手帳(第1版)」印刷頁順(目安線有り)

必要部数によっては紙媒体での配布も相談に応じますので、ご希望の際は下記の間い合わせフォームより協議会事務局にご連絡ください。



特許出願済

→ お問い合わせ

→ トップページ